

2025 年度 参加者募集

募集人数：12 名程度

地域におけるリサーチ型芸術実践のモデルケースとして、島／沖縄にクローズアップした『講座－知ること』とそれによる成果を公開する『展示－表現すること』が一連となったプログラムです。まずは、芸術実践の「場」の始まりとなる講座を開設し、受講生は「島／暮らし」をテーマに、講師となるアーティストとともに地域のさまざまな側面を探求しながらフィールドワークを行います。講座を通じて、集めた資料や素材を、地域の人々へ語りかける「投壺通信 (message in a bottle)」のイメージで成果物として形にまとめ、最終的に 1 週間ほどのリサーチ展示へと結実させます。

受講料：無料 ＊別途、材料費として 1,000 円ほどかかります。

参加条件：以下の **section1～3** の全てに参加できる方。

対象：フィールドワーク・アートに興味のある方。一般、フリーランス、学生の場合は大学院生以上。

section 1 オリエンテーションへの参加

オリエンテーション (オンライン) ＊募集締め切り後、参加者へオンライン用の URL をお知らせいたします。
日程：2025 年 8 月 9 日 (土) 12：00～13：00・内容：宿題の発表、講座までに準備するもの、注意事項、など

section 2 リサーチ型講座への参加

リサーチ型講座 (対面)

テーマ：「View」眺め・風景／見方・観点を通して」

内容：自らの手で描かれたもの、スケッチを信頼しながら、沖縄の風景そのものを見つめてみる。

講師：津上みゆき (画家)

- ・ 日程：2025 年 8 月 27 日～8 月 31 日 13：00～16：00
 - 8 月 27 日 (水) ガイダンス、宿題提出、ディスカッション
 - 8 月 28 日 (木) フィールドワーク「見て描く①」
 - 8 月 29 日 (金) フィールドワーク「見て描く②」
 - 8 月 30 日 (土) フィールドワーク「見て描く③」
 - 8 月 31 日 (日) まとめ、ディスカッション
- ・ 場所：沖縄県立芸術大学 首里当蔵キャンパス 一般教育棟
＊フィールドワークの日は現地集合・現地解散となります。

津上みゆき
(つがみ・みゆき)



1973 年 東京に生まれ大阪に育つ。京都芸術大学大学院修了。作品タイトルに冠している“View”は「みえるもの」「眺め」と「みること」「見方」の両義を示す。人がどのように外の世界を自分の世界として捉え、自身の視点から尺度や価値観を構築していくのか、観察し描く日々のスケッチを通して現代における風景画の制作に取り組んでいる事に由来する。2003 年 VOCA 賞受賞。2013 年五島記念文化財団美術新人賞受賞。主なパブリックコレクション：アーティゾン美術館 (東京)、大原美術館 (岡山)、国立国際美術館 (大阪)、東京国立近代美術館 (東京)、長崎県美術館 (長崎)。

section 3 成果展への参加

成果展：「message in a bottle 島と／詠む Vol.4」

会期 (予定)：2025 年 11 月 26 日 (水)～11 月 30 日 (日) ＊プレゼンテーション：11 月 29 日 (土)

- ・ 講座参加者は、8 月の講座を通じて集めた資料や素材をまとめ、1 週間の成果展を行います。
- ・ 場所 (予定)：沖縄県立芸術大学 附属図書・芸術資料館

応募締め切り 2025 年 7 月 25 日 (金)

*** 定員に達し次第、募集は終了いたします。**



QR コードよりお申し込みください。
QR コードが読み込めない場合は、
問い合わせ先へご連絡ください。

リサーチ型プロジェクト 2025
「message in a bottle - 島の暮らし、島からの発信」